



令和6年1月9日

学校だより

東京都立石神井特別支援学校長

柳澤 由香

夢と勇気

令和6年、新しい年が、明けました。

はじめに、元日に発生しました能登半島地震により犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

いまだ、余震が続いている中、三学期、学校の再開が難しい状況の学校もあるとの情報もいただき、不安で辛い思いをしている子供たちの気持ちを思うと、心が痛みます。被災地の方々の安全と一日も早い復興を心より願い、支援してまいりたいと思います。

12月に、本校において、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を実施しました。

小学部は、元サッカー日本代表の北澤豪さんをお迎えしました。北澤さんのパスやシュートを見た後、子供たちが実際に体を動かしました。手でボールを持って身体の周りを一周させたり、置いてあるボールに足でそっとタッチしたり、ゴールを狙って何度もシュートをしたりしました。北澤さんは、子供たちの主体性を大切に、やり遂げるまで見守って支えてくださったり、良いところをしっかりと褒めてくださったりして、子供たちに自信や達成感を育んでくださいました。北澤さんの温かく魅力的な人柄、言葉かけで、子供たちは、笑顔いっぱい夢中でサッカーを楽しんでいました。サッカーへの興味や関心が一層高まり、自分から挑戦しようとする心が育まれた体験活動となりました。

中学部は、東京オリンピックフェンシング競技エペ団体の金メダリストの宇山賢さんをお迎えしました。子供たちは、宇山さんから東京オリンピック優勝時のお話を伺ったり、宇山さんと教員のデモンストレーションを観たり、スマートフェンシングの体験をしたりしました。宇山さんが、一生懸命努力して、世界で一番になった証の金メダルを実際に見て触らせていただき、笑顔がいっぱい溢れました。目標をもって、日々、努力を積み重ね、それによって、優勝し、金メダルを獲得するという素晴らしい夢を叶えることができた現実を目の当たりにし、たくさんの勇気と元気をもらいました。

1月5日に、学校に、現在はドジャースのメジャーリーガー大谷翔平選手から3つのグローブが届きました。子供たちには、1月9日の始業式にお披露目しました。

大谷選手からは、学校に通う子供たちに野球に興味をもってもらうために立ち上げたプログラムであり、そして、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいる、それは、野球こそが、大谷選手が充実した人生を送る機会を与えてくれるスポーツだからであるというメッセージをいただきました。

多くの方々からいただいた夢と勇気、辰年の今年も、龍のように空に向かって伸び、いろんなことに挑戦してまいりたいと思います。本年もよろしく願いいたします。